

シリーズ

住まいの防火(18)



東山梨消防
本部管内

平成20年火災発生状況

当消防本部管内における平成20年中の火災は34件発生し、その大半が、建物火災と枯草などを焼失したその他火災で占められています。

また、原因別でもたばこやたき火などが上位を占め、「ちょっとした油断」から火災が発生しています。

次の事例は、実際に起こった火災発生時の状況をあげたものです。

事例
1

枯草が燃えたその他火災

畑のせん定枝を焼却し、その場から離れて農作業をしていたところ、風にあおられ周囲の枯草に燃え移り火災となりました。

事例
2

台所から発生した建物火災

台所で揚げ物をしている時に電話があったので、火を付けたまま電話をしていたところ天ぷら油が発火し、周囲に燃え移り火災となりました。

緊急事態! 火災多発!

本年3月31現在で、平成20年中の火災を上回る35件の火災が発生しています。

この火災の多くは、火の取扱い不注意により発生しているものですが、この中には放火の疑いと思われる不審火も数件含まれています。

当本部では、これらの火災に対し緊急火災予防対策として、消防署、消防団が一丸となって管内の巡回広報活動を行うなど火災予防の強化に努めています。

地域の皆様にも、家の周りに燃えやすいものを置かない、人目に付きにくい場所にはセンサーライトを設置するなど、放火されない環境づくりに配慮していただき、より一層火災予防にご協力をお願いします。



「あかふじ」は、平成七年の運航開始以来、県内で発生した災害をはじめ、大規模災害が発生した際は県外にも応援出場しており、今後も活躍が期待されています。

武井消防士長は、「派遣される三年間、全力投球で県民の皆さんの安全・安心を空から守ります。」と、これからの抱負を語ってくれました。



消防防災ヘリ
あかふじ
派遣



中島章詠 小林伸幸 西川 潤 小橋 伸
柳澤康仁 森田一貴

本年四月一日付けで、消防士を拝命され、現在、山梨県消防学校において、六ヶ月間の初任科教育を受けています。十月には第一線に配属され、地域の負託に応えるべく、一生懸命、勉学、訓練に励んでいます。

ニュー
フェイス